

第3回網走湖汽水環境保全方策検討委員会

議事要旨

日 時：令和4年8月9日

場 所：オホーツク・文化交流センター

(エコーセンター2000) 大会議室

1. 試行的対策の状況報告

(1) 事務局より資料 1～5 を用いて、網走湖低塩分化対策の現地調査概要を説明した。

(2) 主な意見は次の通り。

ア. データから考えると、フェンスから塩分が漏れている可能性が高いが、フェンスの中でも風等で拡散する可能性がある。

イ. フェンス内の DO については、継続的に留意してデータをみて行く必要がある。また、塩分と DO の関連性や観測値の測定精度について確認が必要である。

ウ. 自然の塩水遡上というのは底の方を伝ってくるので、直接フェンス下層に塩水を入れたほうが、フェンスから漏れているかどうかの確認のためにも良いと思われる。

エ. フェンスから塩分の漏れがあることを前提に考えることや漏れを踏まえた上で運用することも必要と思われる。

2. 試行的対策の現地視察

(1) 事務局より現地において、試行的対策の現地での施設設置・運用方法を説明した。

(2) ポンプ、発電機、導水管の設置状況について、問題がないことを確認した。

(3) 主な意見は次の通り。

ア. フェンスから塩分が漏れている可能性を確かめる上で、ダイバーや水中ドローンによって、まずは現状を確認する必要がある。

イ. 現場の運用については、ICT を有効に活用しており素晴らしいと思う。